

IBM SPSS Statistics
バージョン 22

**許可ユーザー・ライセンス
管理者ガイド**

IBM

目次

管理者ガイド	1	Mac コンピューターと Linux コンピューターでの	
開始する前に	1	サイレント・インストールの実行	6
ゴースト化	1	licenseactivator の使用	7
Citrix およびターミナル・サービス	1	ライセンス・ファイル	8
ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品の		サービスとサポート	8
インストール	1		
Windows コンピューターへのインストールのプッ			
シュ	2		

管理者ガイド

以下の説明は、IBM® SPSS® Statistics 22 に認証されたユーザー・ライセンスのライセンス・タイプを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、IBM SPSS Statistics を複数のコンピューターにインストールできます。その数は購入したライセンス数に制限されます。

開始する前に

認証コードが必要です。認証コードにより、管理者とエンド・ユーザーは、IBM SPSS Statistics のライセンスを取得できるようになります。

認証コードを取得するための個別の手順については、既に受け取っているはずですが、認証コードが見つからない場合は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/clientcare.html> にアクセスしてカスタマー・サービスに連絡してください。

ゴースト化

ソフトウェアのゴースト化を行う場合は、ライセンスへの準拠を容易にするために次の方法をお勧めします。

- コンカレント・ライセンスに移行する。
 - または -
- 認証済みユーザー・ライセンスを使用するが、ゴースト化イメージのソフトウェアにはライセンスを許可しない。各エンド・ユーザー・マシン上のソフトウェアにライセンスを許可します。

ソフトウェアのゴースト化を選択した場合、上記 2 つの推奨方法のいずれかを使用しないときは、ライセンスへの準拠を維持していくことが非常に難しくなります。ライセンスへの準拠の維持についてのご質問は、IBM Corp. にお問い合わせください。

Citrix およびターミナル・サービス

Citrix およびターミナル・サービスで IBM SPSS Statistics を使用するには、コンカレント・ライセンスが必要です。ライセンスの移行については IBM Corp. にお問い合わせください。

ローカル・デスクトップ・コンピューターでの製品のインストール

エンド・ユーザーのコンピューターにローカルで製品のフルインストールを行うには、2 つの方法があります。各コンピューターに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼働しているコンピューターにインストールをプッシュできます。また、Mac および Linux では、サイレント・インストールを実行することもできます。

ローカル・デスクトップでの手動インストール

1. インストール・メディアを用意します。製品の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク・ドライブにファイルを解凍します。物理インストール・メディアがある場合、DVD/CD のコピーを必要な数だけ作成するか、メディアを共有ネットワーク・ドライブに置きます。
2. インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備します。製品のインストール手順書のコピーを必要な数だけ作成します。インストール手順書はダウンロード・サイトから入手できます。

または、物理インストール・メディアを受け取っている場合は、DVD/CD の */Documentation/*
<language>/InstallationDocuments ディレクトリーにあります。ご使用のライセンス・タイプに対応する
 指示書を探します。インストール後に、エンド・ユーザーは、サイトの認証コードを入力する必要があります。
 手順書をコピーする前に、手順書の冒頭に用意されているスペースにこの情報を入力します。

注: プロキシ・サーバーによって認証が妨げられる場合は、*licenseactivator* の使用を検討してくださ
 い。これによって、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳しくは、7 ページの
 『*licenseactivator* の使用』のトピックを参照してください。

3. インストールに必要なものをエンド・ユーザーに配布します。インストール DVD/CD (またはダウン
 ロード済みファイル、またはネットワーク上でのメディアの場所)、インストール手順書、およびライセ
 ンス情報を、各コンピューターに手でインストールできるエンド・ユーザーに必要なに応じて配布しま
 す。

Windows が稼働しているローカル・デスクトップへのプッシュ

IBM SPSS Statistics のインストールは Microsoft Windows インストーラー (MSI) との互換性があるため、
 エンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにインストールをプッシュできます。

Windows コンピューターへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュとは、ソフトウェアを任意の人数のエンド・ユーザーに、ユーザーの介入なしにリ
 モートで配布する手法です。IBM SPSS Statistics のフルインストールを、Windows が稼働しているエン
 ド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテ
 クノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

注: Mac および Linux では、インストールのプッシュは直接には実行できません。代わりに、サイレン
 ト・インストールを実行できます。詳しくは、6 ページの『Mac コンピューターと Linux コンピューター
 でのサイレント・インストールの実行』のトピックを参照してください。

以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM SPSS Statistics がインストールされているディレクトリーにプッシュする場合
 は、その古いバージョンをアンインストールする必要があります。インストールのプッシュと同様に、ア
 ンインストールをプッシュすることができます。詳しくは、6 ページの『アンインストールのプッシュ』の
 トピックを参照してください。

プッシュ・インストールのプロパティー

プッシュ・インストールで使用できるプロパティーを以下に示します。すべてのプロパティーで大文字と小
 文字が区別されます。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

表1. プッシュ・インストールのプロパティー:

プロパティー	説明	有効な値
INSTALLDIR	IBM SPSS Statistics のインストール 先となる、エンド・ユーザーのデスク トップ・コンピューター上のディレク トリー。このプロパティーはオプショ ンです。このプロパティーを指定しな かった場合のデフォルトは <i>C:¥Program</i> <i>Files¥IBM¥SPSS¥Statistics¥22</i> です。	<i>C:¥Statistics</i> などの有効なパス。

表1. プッシュ・インストールのプロパティ (続き):

プロパティ	説明	有効な値
AUTHCODE	認証コード。このプロパティを指定した場合、認証コードを使用して製品が自動的に認証されます。このプロパティを指定しなかった場合、各エンド・ユーザーがライセンス認証ウィザードを実行して、手動で認証を行う必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードを指定する場合は、コロンで区切ります (例: <i>authcode1:authcode2</i>)。
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。AUTHCODE パラメーターを指定し、インターネットへの接続でユーザー ID とパスワードが必要なプロキシを現在のサイトで使用している場合は、このパラメーターを指定する必要があります。コントロール・パネルの「インターネットオプション」の「ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定」で、特定のプロキシ・サーバーのアドレスとポートが指定されている場合のみ、このパラメーターが機能します。	有効なプロキシ・ユーザー ID。
PROXY_PASSWORD	プロキシ・ユーザーのパスワード。詳細については、PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシ・ユーザー ID に関連付けられたパスワード。
ENABLE_JAB	JAWS で使用できるように Java Access Bridge を有効にします。このプロパティを指定すると、インストールされている Java Runtime Environment (JRE) に適切な <i>accessibility.properties</i> ファイルがコピーされ、Java Access Bridge の場所が PATH 環境変数に追加されます。詳細については、資料「 <i>Assistive Technology Software</i> 」(<i>accessibility.pdf</i>) を参照してください。	1 (Java Access Bridge を有効にする)
INSTALLPYTHON	IBM SPSS Statistics - Essentials for Python をインストールします。これには、Python バージョン 2.7、IBM SPSS Statistics - Integration Plug-in for Python、および組み込みの SPSS Statistics プロシージャで使用可能な機能以外の機能を提供する Python 拡張コマンド・セットが含まれます。詳しくは、ヘルプ・システムの Integration Plug-in for Python を参照してください。	1 (IBM SPSS Statistics - Essentials for Python をインストールする)

表1. プッシュ・インストールのプロパティ (続き):

プロパティ	説明	有効な値
HELPCHOICE	ヘルプの言語を示す値。ヘルプは、すべての言語でインストールすることも、英語以外の特定の1言語でインストールすることもできます。この値には、ALL を指定するか、特定の言語を示すコードを指定します。デフォルト値は、システム・ロケールか、TRANSFORMS プロパティで指定された言語です。詳しくは、5 ページの『英語以外のシステムにインストールをプッシュする』のトピックを参照してください。 「有効な値」列に、有効な言語コードを示します。ここでは、言語コードの横の括弧内に、そのコードに関連する言語を示しています。	ALL (すべての言語) de (ドイツ語) en (英語) es (スペイン語) fr (フランス語) it (イタリア語) ja (日本語) ko (韓国語) pl (ポーランド語) ru (ロシア語) zh_CN (中国語 (簡体字)) zh_TW (中国語 (繁体字))
COMPANYNAME	自分の会社名。	任意の文字列。

MSI ファイル

IBM SPSS Statistics 22.msi ファイルは、DVD/CD の `Windows\SPSSStatistics\<architecture>` ディレクトリに格納されています。`<architecture>` は、32bit または 64bit です。ソフトウェアをダウンロードした場合、eImage の内容を抽出して MSI ファイルにアクセスする必要があります。

コマンド・ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド・ラインの例を以下に示します。すべてのテキストを1行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Statistics 22.msi" /qn /L*v logfile.txt
INSTALLDIR="C:\Statistics" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM SPSS Statistics をプッシュする際の基本的な手順を以下に示します。

1. DVD/CD に収録されている `Windows\SPSSStatistics\<architecture>` ディレクトリ配下の適切なサブディレクトリを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. コピーしたディレクトリ内の `IBM SPSS Statistics 22.sms` ファイルを編集します。テキスト・エディターを使用して適切なプロパティを追加することにより、CommandLine の値を変更してください。使用可能なプロパティのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティ』を参照してください。コマンド・ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
3. `IBM SPSS Statistics 22.sms` ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・マシンに配布します。

グループ・ポリシーまたは関連技術を使用したインストールのプッシュ

1. DVD/CD に収録されている *Windows¥SPSSStatistics¥<architecture>* ディレクトリー配下の適切なサブディレクトリーを、ネットワーク・コンピューター上のディレクトリーにコピーします。ソフトウェアをダウンロードした場合は、最初に eImage の内容を抽出する必要があります。
2. ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーしたフォルダー配下の適切な *IBM SPSS Statistics 22.msi* ファイルでプロパティ・テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に付属しています。http://www.microsoft.com/downloads にアクセスして、「SDK」で検索してください。プロパティ・テーブルに追加できるプロパティのリストについては、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティ』を参照してください。必ず、正しい MSI ファイルを使用してください。
3. 編集済みの *IBM SPSS Statistics 22.msi* ファイルを使用してパッケージを作成し、このパッケージをエンド・ユーザーのデスクトップ・コンピューターに配布します。

英語以外のシステムにインストールをプッシュする

追加の指定をすることなく、英語以外のシステムにインストールをプッシュすることができます。ただし、インストーラーの言語 (対話インストールをプッシュする場合)、ユーザー・インターフェース、ヘルプはすべて英語で表示されます。ユーザーは、インストール後にユーザー・インターフェースの言語を変更できますが、ローカライズされたヘルプは使用できません。

TRANSFORMS プロパティを使用して、DVD/CD またはダウンロードした eImage に含まれているいずれかの MST ファイルを指定することができます。MST ファイルを使用すると、インストーラー、ユーザー・インターフェース、ヘルプを、指定の言語で表示することができます。IBM SPSS Statistics をダウンロードした場合、MST ファイルは使用できません。その場合ユーザーは、ローカライズされたヘルプの言語パックを手動でインストールし、製品のユーザー・インターフェース言語を手動で変更する必要があります。

TRANSFORMS プロパティは、*MsiExec.exe* のパラメーターです。以下の例では、TRANSFORMS プロパティを使用して、フランス語のインストールをプッシュしています。この場合、インストーラーとユーザー・インターフェースがフランス語で表示され、フランス語のヘルプがインストールされます (ヘルプの言語を HELPCHOICE プロパティでオーバーライドすることもできます。詳しくは、2 ページの『プッシュ・インストールのプロパティ』のトピックを参照してください)。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
MsiExec.exe /i "IBM SPSS Statistics 22.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:¥Statistics" LICENSETYPE="Network" LSHOST="mylicserver" TRANSFORMS=1036.mst
```

以下に示す言語用 MST ファイルは、DVD/CD の *Windows¥SPSSStatistics¥<architecture>* ディレクトリーに格納されています。<architecture> は、32bit または 64bit です。eImage をダウンロードした場合、これらのファイルは抽出された eImage ファイルのルート・ディレクトリーに格納されています。

表 2. 言語用 MST ファイル:

言語	MST ファイル
英語	1033.mst
フランス語	1036.mst
ドイツ語	1031.mst
イタリア語	1040.mst
日本語	1041.mst
韓国語	1042.mst
ポーランド語	1045.mst
ロシア語	1048.mst

表 2. 言語用 MST ファイル (続き):

言語	MST ファイル
スペイン語	1034.mst
中国語 (簡体字)	2052.mst
中国語 (繁体字)	1028.mst

アンインストールのプッシュ

注: アンインストール・コマンドをプッシュすると、エンド・ユーザーによるカスタマイズが失われます。特定のユーザーについてカスタマイズが必要な場合は、それらのユーザーを配布対象から除外して、製品を手動でインストールするように依頼してください。

新しいバージョンの IBM SPSS Statistics のインストールをプッシュする場合、最初にアンインストールを行うことをお勧めします。このアンインストールは、以下のコマンドをプッシュすることにより、サイレントに実行することができます。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
MsiExec.exe /X{104875A1-D083-4A34-BC4F-3F635B7F8EF7} /qn /L*v logfile.txt
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

このコマンドにより、IBM SPSS Statistics 22 がアンインストールされます。以下の表に、このリリースと以前のリリースのアンインストール ID を示します。

表 3. IBM SPSS Statistics のアンインストール ID:

バージョン	アンインストール ID
22.*	{104875A1-D083-4A34-BC4F-3F635B7F8EF7}
21.*	{1E26B9C2-ED08-4EEA-83C8-A786502B41E5}
20.*	{2AF8017B-E503-408F-AACE-8A335452CAD2}
19.*	{06C43FAA-7226-41EF-A05E-9AE0AA849FFE}
18.*	{C25215FC-5900-48B0-B93C-8D3379027312}
17.0.2	{2ECDE974-69D9-47A9-9EB0-10EC49F8468A}
17.0.1	{46B65150-F8AA-42F2-94FB-2729A8AE5F7E}
17.0.0	
16.*	{621025AE-3510-478E-BC27-1A647150976F}

Mac コンピューターと Linux コンピューターでのサイレント・インストールの実行

サイレント・インストール (自動インストール) の場合、グラフィカル・インターフェースは表示されず、ユーザーによる操作は必要ありません。IBM SPSS Statistics には、こうしたインストールを Mac OS と Linux で実行するためのインストーラー・プロパティ・ファイルが付属しています。このファイルには、いくつかの異なるオプションとその説明が含まれています。

インストーラー・プロパティ・ファイルの使用方法

インストーラー・プロパティ・ファイル *installer.properties* は、DVD/CD のルートの */Linux/Administration* または */MacOS/Administration* に格納されています。eImage をダウンロードした場合、*installer.properties* は、eImage 内の *Administration* フォルダに格納されています。

1. DVD/CD または eImage からインストーラー・プロパティ・ファイルをコピーします。
2. コピーしたファイルをテキスト・エディターで開きます。

3. 必要なプロパティを変更します。文字列値が必要なオプションと、インストーラーでの選択内容に応じて 0 (オフ) または 1 (オン) に設定できるオプションがあります。

サイレント・インストールの実行方法

Mac OS にインストールする場合は、対話式インストーラーではなくサイレント・インストーラーを使用してください。サイレント・インストーラーの拡張子は `.bin` で、eImage としてダウンロードすることができます。物理的なインストール・メディアがある場合、サイレント・インストーラーは DVD/CD の `/MacOS/Administration/` に格納されています。

1. ターミナル・アプリケーションを使用し、`-f` スイッチの後ろにインストーラー・プロパティ・ファイルの場所を引用符で囲んで指定して、インストール実行可能ファイルを実行します。Mac OS と Linux の場合は、`root` として実行するか、`sudo` コマンドを使用して実行する必要があります。Linux での例を以下に示します。

```
sudo ./setup.bin -f "/root/installer.properties"
```

licenseactivator の使用

`licenseactivator` を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使用しなくても、エンド・ユーザーのコンピューターを認証することができます。このコマンド・ライン・ツールは、以下のいずれかの場所にあります。

- **Windows:** <インストール・ディレクトリー>
- **Mac OS:** <インストール・ディレクトリー>/<製品>.app/Contents/bin
- **Linux:** <インストール・ディレクトリー>/bin

`licenseactivator` を使用すると、製品のライセンスが交付され、`licenseactivator` のディレクトリーにログ・ファイルが書き込まれます。このログ・ファイルの名前は `licenseactivator_<month>_<day>_<year>.log` になります。エラーが発生した場合は、このログ・ファイルを参照して詳細な情報を調べることができます。IBM Corp. にサポートを依頼する場合にも、この情報が役に立ちます。

認証コードでの licenseactivator の使用

`licenseactivator` は、通常、製品の購入時に受け取った 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行で入力してください。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname] [PROXYPORT=proxy-port-number]  
[PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 複数の認証コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、プロキシ経由でコンピューターを使用している場合は、プロキシ設定が必要になることがあります。必要なプロキシ設定は、固有のプロキシ構成によって異なります。すべてのプロキシ設定が必要になることがあります。

PROXYHOST

プロキシ・ホストのサーバー名または IP アドレス

PROXYPORT

プロキシ経由でインターネットに接続するためのポート番号

PROXYUSER

プロキシのユーザー ID (必要な場合)

PROXYPASS

ユーザー ID に関連付けられたパスワード (必要な場合)

ライセンス・コードでの `licenseactivator` の使用

あまり多くはありませんが、IBM Corp. からライセンス が送付されることがあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- 複数のライセンス・コードを指定する場合は、コロン (:) で区切ります。
- ライセンス・コードを使用する場合、`licenseactivator` はインターネットには接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

ライセンス・ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール・ディレクトリーに `lserverc` という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンド・ユーザーの各コンピューターに対して保持しておくことができます。ライセンス・ファイルは、それが作成されたコンピューターでのみ機能しますが、そのコピーがあると、製品のアンインストールや再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストール後に、`lserverc` ファイルを製品のインストール・ディレクトリーにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、サイトでライセンス交付を受けた製品バージョンごとに、窓口となる技術担当者が、お客様のサイトで 1 人指定されます。この担当者が、お客様の組織内のユーザーに対して、製品に関する支援とオプションを提供することになります。IBM Corp. は、窓口となる技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. 技術サポートを通じて技術的な支援を提供します。ソフトウェアに関する質問は指定された技術担当者に問い合わせるよう、エンド・ユーザーに通知してください。

IBM Corp. 技術サポートに連絡するには、<http://www.ibm.com/support> にアクセスして事象を送信してください。IBM Corp. 技術サポートに登録していない場合は、登録する必要があります。

IBM Corp. は、IBM Corp. 製品の公開トレーニング・セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでトレーニングを受講することもできます。トレーニング・セミナーの詳細については、<http://www.ibm.com/training/spss> にアクセスしてください。



Printed in Japan